

# 「第4次いしかわ食育推進計画（案）」の概要

## 1 計画策定の趣旨

県民一人ひとりが生涯にわたって食を考える習慣を身につけ、食を大切にする心を持ち、心身ともに健康で、豊かな人間性を育むことができるよう、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。

## 2 計画の位置づけ

食育基本法に基づく県の食育推進計画  
いしかわ子ども総合条例に定められた石川県食育推進計画

## 3 計画の期間

令和4年度から令和8年度までの5年間

## 4 計画の目標

- (1) 計画全体の目標 食育に関心を持っている県民の増加
- (2) 施策の方向性別の目標 21項目の目標値を設定

## 5 重点課題

- (1) 子どもの基本的な生活習慣の形成
- (2) 石川の食文化の継承につながる食育の推進
- (3) 若い世代に対する食育の推進
- (4) 健康寿命の延伸につながる食育の推進
- (5) 食品ロス削減の推進
- (6) デジタル技術を活用した食育の推進

## 6 計画の目的と施策の方向性

### ■ 目的1 未来を担う子どもの健全な身体を培い、豊かな心を育む

#### (1) 家庭における食育の推進

妊娠前からはじめる妊産婦の食育の推進、子どもの基本的な生活習慣の形成、食を楽しむ力（知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる）の育成

#### (2) 保育所・認定こども園・幼稚園・学校等における食育の推進

体験型食育の推進、地域交流型食育の推進、給食を通じた食に関する理解促進

### ■ 目的2 地域の食を次世代に伝え、地域社会の活性化を図る

#### (3) 石川の伝統的な食文化の継承

石川の食文化の継承につながる食育の推進、給食での郷土料理の積極的な導入、食文化に関する情報の収集と発信

#### (4) 消費者と生産者等との交流を通じた地産地消の推進

子どもを中心とした農林漁業体験活動の促進、消費者と生産者の交流の促進、食品関連事業者等による地産地消の促進、地場産物の情報提供と利用促進

### ■ 目的3 県民一人ひとりが、健全な食生活を実践する力を身につける

#### (5) 個人が取り組む食育の推進

若い世代に対する食育の推進、健康寿命の延伸につながる食育の推進、高齢者に対する食育の促進

#### (6) 食育を支える地域環境づくり

ボランティア等の育成・活動の推進、各種団体等の連携・協力体制の推進、食育の推進に関する情報提供、職場における食育の推進、食品ロス削減の推進、多様な暮らしに対応した食育の推進、デジタル技術を活用した食育の推進

# 数値目標(案)

## I. 計画全体の目標

		現状値 (令和2年度)	目標値
食育に関心を持っている県民を増やす			
①	食育に関心を持っている県民の割合	79.2%	90%以上

## II. 施策の方向性別の目標

目的1: 未来を担う子どもの健全な身体を培い、豊かな心を育む

### 1 家庭における食育の推進

栄養バランスに配慮した食生活を実践する県民を増やす			
②	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている県民の割合	51.6%	65%以上
③	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	37.9%	55%以上
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす			
④	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の割合	60.1%(H27)	70%以上
朝食を欠食する県民を減らす			
⑤	朝食を欠食する子どもの割合	4.6%(R1)	0%
⑥	朝食を欠食する若い世代の割合	12.4%	8%以下

### 2 保育所、認定こども園、幼稚園、学校等における食育の推進

体験型食育に積極的に取り組む保育所等を増やす			
⑦	食育計画を評価している保育所等の割合	75.8%	増加
⑧	体験型食育を実施している保育所等の割合	93.2%(R1)	増加
学校給食における地場産物を活用した取り組み等を増やす			
⑨	栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取り組み回数	月9.1回(参考値:R1国)	月12回以上

### 3 石川の伝統的な食文化の継承

地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理を食べている県民を増やす			
⑩	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理を食べている県民の割合	73.0%	80%以上
⑪	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理を食べている若い世代の割合	63.7%	70%以上

目的2: 地域の食を次世代に伝え、地域社会の活性化を図る

### 4 消費者と生産者等との交流を通じた地産地消の推進

農林漁業体験を経験した県民を増やす			
⑫	いしかわ田んぼの学校推進プロジェクト事業への延べ参加児童数	60,939人	90,000人以上
⑬	いしかわ耕稼塾「いしかわの農業学ぼうコース」延べ参加者数	1,969人	2,800人以上
産地や生産者を意識して県産の農林水産物・食品を選ぶ県民を増やす			
⑭	産地や生産者を意識して県産の農林水産物・食品を選ぶ県民の割合	—	80%以上

※⑫、⑬現状値: H23~R2年度延べ人数

目的3: 県民一人ひとりが、健全な食生活を実践する力を身につける

### 5 個人が取り組む食育の推進

生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する県民を増やす			
⑮	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけている県民の割合	77.7%	85%以上
⑯	1日当たりの食塩摂取量の平均値	11.1g(H28)	8g未満
⑰	1日当たりの野菜摂取量の平均値	316.4g(H28)	350g以上
ゆっくりよく噛んで食べる県民を増やす			
⑱	ゆっくりよく噛んで食べる県民の割合	52.5%(R1)	増加

### 6 食育を支える地域環境づくり

食育の推進に関わるボランティアの数を増やす			
⑲	食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している県民の数	7,272人	増加
食品の安全性について基礎的な知識を持っている県民を増やす			
⑳	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている県民の割合	72.3%	85%以上
㉑	食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている若い世代の割合	61.8%	80%以上
食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民を増やす			
㉒	食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民の割合	86.2%	増加